

《姿を現した第13号古墳の石室》



6月から開始した安塚古墳群の調査は、第13号古墳とその周辺を中心に行ってきました。この第13号古墳の石室は、河原石を規則的に並べた状態で検出され、中を掘ったところ、遺体を埋葬した石室が姿を現しました。石室に使われていた石は、梓川の河原石と考えられます。

石室は、長さ約3.3m、幅約1mで、西側の側壁には立柱石（りっちゅうせき 立てた石）が設置されています。東側の側壁からは立柱石はみつきりませんでした。立柱石を立てていたと考えられる穴がみつきりました。第13号古墳は、この立柱石を境に2室に分かれていたと考えられ、立柱石の奥側からは骨（骨紛）が出土しました。しかし、骨は残りが悪く、骨の部位などの特定はむずかしそうです。

石室から土器は出土しませんでした。隣でみつがっている同じ規模・形状の古墳からは8世紀中頃の土器が出土していて、この古墳も同時期に造られたと推定されます。



第13号古墳の精査風景



石室に埋まる土を掘った第13号古墳（●：骨出土地点）



石室の中からみた立柱石



骨（骨粉）の精査

《空中写真撮影》

第13号古墳とその周囲でみつかった穴がほぼ掘りあがった8月初旬にラジコンヘリを用いて空中写真を撮影しました。



空中写真撮影風景



ラジコンヘリで撮影した空中写真（西より奈良井川方向を臨む）

《安塚古墳群の見学会》

8月20日（火）、松本市和田公民館が主催した安塚古墳群見学会がありました。当日は晴天で、第13号古墳の石室や西側の地区でみつかったばかりの別の古墳などをみていただきました。

今回見学していただいた第13号古墳は、この後石室の石を解体してしまいましたが、来年度以降も調査は続きますので、このような貴重な地域の歴史をみなさんにみていただける機会を増やしていきたいと考えております。

これからも、ご協力、よろしくお願いいたします。



松本市和田公民館主催の見学会風景
（西側の地区でみつかった古墳）



松本市和田公民館主催の見学会風景
（第13号古墳）



（問い合わせ先）

長野県埋蔵文化財センター

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田963-4

電話：026-293-5926

担当：河西

支援業務：(株)島田組

南山/丹生/植野/加藤

メール：maibun@naganobunka.or.jp

H P：<https://naganomaibun.or.jp>